

令和9年度予算への要望書

団体名	一般社団法人 川崎市商店街連合会
-----	------------------

役所の担当部局名	経済労働局観光・地域活力推進部
----------	-----------------

件名	商店街会員加入促進につながる取組強化について
----	------------------------

○印を付けてください	新規 継続
------------	---

要望内容

川崎市商店街連合会は、地域商業や市内商店街の発展のためには活動しております。その市商連の活動を支援するためにも、インセンティブとして、市商連加入団体及び店舗に対する川崎市の支援制度等における補助率の加算や、申請手続きの簡略化、補助金申請時の市商連の推薦を条件とするなど、市商連への加入促進につながる支援を要望いたします。

今年度川崎市では、チャレンジ店舗支援事業の補助金で、商店街加盟や市商連加盟の店舗の場合、補助上限に差を設けましたが、このようなインセンティブ要素が加入促進につながると考えます。イベント補助（商店街ソフト事業）においても同様に、市商連会員へのインセンティブ創設を希望いたします。

併せてスーパー等大型店舗についての課題ですが、近年商店街（賛助）会員を脱退するケースが増えてきています。

（大型店などの賛助会員の推移）

平成26年 15団体 会費 279万円

令和 7年 12団体 会費 178万円

経営上の問題もありますが、店舗の撤退ならともかく継続的に営業されているにも関わらず脱退するのは、地域で営業する企業としての役割りとしては物足りないものがあります。

神奈川県では商店街活性化条例が施行され、努力目標ではありますが、地域貢献を目的に商業者すべてに商店街への加入を促す条文があります。川崎市においても、この条例の理念を認識いただき、地元商店街或いは地域の商連の加入について、行政サイドからの強力なバックアップをお願いいたします。

特に、特別市を目指す川崎市であるなら、県が実施している商業振興における考え方を引き継いでいただき、商業者の支援を得られるよう施策を進められることを希望いたします。